

# 令和5年度事業計画書



社会福祉法人  
若草会

## I 【はじめに】

### (1) 法人の基本理念

一人ひとりの豊かな生涯を共に寄り添い、支え合う介護の実現

### (2) 法人の「寄り添う」ビジョン

#### 1、信頼

高齢者や家族の気持ちに寄り添い、皆さまから愛され、信頼される事業所を目指します。

#### 2、共感

高齢者のこれまでの人生に寄り添い（理解）、日常の暮らしの中で共感できる喜びを広げていきます。

#### 3、尊厳

高齢者の尊厳に寄り添い（配慮）、快適な生活が築けるよう、思いやりの歩みを継続します。

### (3) ホームページの更新について

理念の改訂に伴い、ホームページ上で法人の目指すべき目標を明確にします。また、ホームページを見やすく分かり易くすることで、年代性別問わず、様々な人から親しみを持ってもらえるような社会福祉法人を目指していきます。

### (4) 背景と展望

蔓延する新型コロナウイルスの感染拡大とロシア・ウクライナ情勢の影響により、世界は未だに不安定な状態に陥っています。社会福祉分野においても例外はなく、感染防止による面会禁止、燃料の高騰による物価上昇にともない、私たちの生活の足元を揺るがす事態となっています。

令和4年度には、特養わかくさ・弥生の里において入居者にコロナ陽性者の発生し職員にまで感染が拡がりました。施設という閉じられた空間において、法人としても、安心安全の取り組みと業務継続計画に基づいた、施設運営を行っていかねばなりません。不安定な時代だからこそ、今一度法人の原点に立ち戻り、若草会理念の浸透を図ります。そして、利用者・家族・職員が三位一体となった、寄り添う介護の実現を目指していきます。

(4) 事業

- ①第1種社会福祉事業-----地域密着型特別養護老人ホーム わかくさ  
地域密着型特別養護老人ホーム 弥生の里
- ②第2種社会福祉事業-----短期入所生活介護 わかくさ  
短期入所生活介護 弥生の里
- ③収益事業-----不動産貸与事業

II 【令和5年度の事業方針と重点的取り組み課題】

(1) 法人理念の理解による、寄り添う介護の実践

(2) 感染症や災害への対応力強化

- ①スタンダード・プリコーション（標準予防策）の理解と実践
- ②感染症・災害を想定した研修・訓練の実施
- ③災害時の福祉避難所の開設

(3) 地域包括ケアシステムの推進

- ①職員全員が認知症への対応力向上に向けた認知症介護基礎研修の受講
- ②認知症介護実践者研修の受講による、介護リーダーの育成

(4) 自立支援・重度化防止の取組

- ①機能訓練・口腔・栄養の専門職が連携し、LIFE（CHASE、VISIT）を活用した科学的介護の実践

(5) 介護人材の確保、介護現場の革新

- ①処遇改善加算、特定処遇改善加算、ベースアップ加算等を活用した、介護職の賃金見直しの実行
- ②ハラスメント対策強化のための研修会の開催
- ③介護記録ソフト「ほのぼの」を活用した介護記録の効率化
- ④Google スプレッドシートを活用した、他施設との情報共有
- ⑤スマートフォン、タブレットを活用した動画マニュアルの作成

### Ⅲ【年間予定】

月	法人予定
4月	
5月	
6月	定期理事会 定期評議委員会
7月	
8月	
9月	
10月	定期理事会
11月	
12月	
1月	
2月	
3月	定期理事会

### Ⅳ【令和5年度役員】

理事長：古賀良子

常勤理事：田中圭子

非常勤理事：末次輝

非常勤理事：大石昌彦

非常勤理事：平松義博

非常勤理事：林利彦

非常勤理事：池末直子

監事：吉田樹夫

監事：田崎創

### Ⅴ【令和5年度評議員】

評議員：稲吉義弘

評議員：大石純夫

評議員：木下雅之

評議員：熊谷智彦

評議員：眞田明子

評議員：吉田帰命

評議員：中村茂人

評議員：古川哲也

評議員：肥山淳一郎



## 久留米・小郡拠点

(第1種社会福祉事業)

地域密着型特別養護老人ホーム わかくさ・弥生の里

(第2種社会福祉事業)

短期入所生活介護 わかくさ・弥生の里

## 《地域密着型特別養護老人ホームわかくさ・弥生の里》

### I 【運営目標】

- ① 業務継続計画に基づき、感染・災害発生時にも早期復旧し、必要なサービスを提供しながら入居者の生命保護に努める。
- ② 個々の職員の資質向上と、専門性を活かし組織内での人材育成が計画的に実施できるよう、職員教育の体制を確立させる。
- ③ 医療・介護の関係機関や地域の支援者に積極的にアプローチを行い、待機者確保と入居率100%維持に努める。
- ④ 入居者やその家族に安心して頂けるような環境設定を行い、最後まで心豊かに楽しみのある日々を送って頂けるようなサービスを提供する。
- ⑤ 地域包括ケアシステムの一員として、また「社会福祉法人」として求められる地域貢献に向けて、多職種が連携し、地域に住む高齢者への支援事業を行う。

### II 【サービス目標】

- ① 生活の中の課題を明確にし、解決に向けてのカンファレンス（サービス担当者会議）を実施し、入居者のQOLの維持・向上を念頭に置き、人生の終焉まで入居者と家族に寄り添える支援を行っていく。
- ② 入居者へ適切なケアを実践し、安心して過ごして頂けるよう、各委員会活動や家族に寄り添える支援を行っていく。
- ③ 運営推進会議や、地域交流の機会を通して、「特養わかくさ」「特養弥生の里」が入所施設というだけでなく、地域で暮らす高齢者やその家族が気軽に相談できる、身近な場所になれるよう、取り組んでいく。

### Ⅲ【各種委員会】

①身体拘束委員会	1回／3ヶ月
②事故防止委員会	毎月開催
③給食委員会	毎月開催
④感染委員会	1回／3ヶ月
⑤褥瘡委員会	毎月開催
⑥排泄委員会	毎月開催
⑦看取り委員会	随時
⑧教育委員会（介護の質向上委員会）	毎月開催

### Ⅳ【年間行事】

月	施設行事	研修・会議等
4	花見	
5	端午の節句	運営推進会議
6	父の日行事	
7	七夕まつり	運営推進会議
8	夏祭り	
9	敬老会	運営推進会議
10	観月会	
11	文化祭	運営推進会議
12	クリスマス会	
1	新年行事	運営推進会議
2	節分祭り	
3	ひな祭り	運営推進会議 今年度の事業の振り返り及び 来年度の事業計画報告会

※入所判定会議は適宜開催

## 《ショートステイ弥生の里》

### I 【運営目標】

- ① 業務継続計画に基づき、災害発生時にも早期復旧し、必要なサービスを提供し生命保護に努める。
- ② 個々の職員の資質向上と、専門性を活かし組織内での人材育成が計画的に実施できるよう、職員教育の体制を確立させる。
- ③ 居宅介護支援事業者との関係性を高め、速やかなショートステイの利用と緊急時の受け入れなど、利用者日々延べ人数4人を目指します。
- ④ 入居者やその家族に安心し、再度利用して頂けるような環境設定を行い、心豊かに楽しみのある日々を送って頂けるようなサービスを提供する。
- ⑤ 地域包括ケアシステムの一員として、また「社会福祉法人」として求められる地域貢献に向けて、多職種が連携し、地域に住む高齢者への支援事業を行う。

### II 【サービス目標】

- ① 環境整備に努め安心・安全・快適な生活環境を提供します。
- ② 入居者へ適切なケアを実践し、安心して過ごして頂けるよう、家族に寄り添える支援を行っていく。
- ③ 運営推進会議や、地域交流の機会を通して、「特養弥生の里」が入所施設というだけでなく、地域で暮らす高齢者やその家族が気軽に相談できる、身近な場所になれるよう、取り組んでいく。
- ④ サービスの質を向上するための教育や研修に積極的に取り組み職員のレベルアップに努める。
- ⑤ お互いに「顔の見える関係作り」を目指し利用者だけでなく家族や地域住民との関わりを積極的に行う。利用者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう支援する。

### Ⅲ【各種委員会】

①身体拘束委員会	1回／3ヶ月
②事故防止委員会	毎月開催
③給食委員会	毎月開催
④感染委員会	1回／3ヶ月
⑤褥瘡委員会	毎月開催
⑥排泄委員会	毎月開催
⑦看取り委員会	随時
⑧教育委員会（介護の質向上委員会）	毎月開催

### Ⅳ【年間行事】

月	施設行事	研修・会議等
4	花見	運営推進会議
5	端午の節句	
6		運営推進会議
7	七夕まつり	
8	夏祭り	運営推進会議
9	敬老会	
10	観月会	運営推進会議
11	文化祭	
12	クリスマス会	運営推進会議
1	新年行事	
2	節分祭り	運営推進会議
3	ひな祭り	1年間の振り返りと来年度目標運営推進会議

※地域の皆様に地域交流スペースを開放いたします。

※慰問・ボランティアの受入をします。

※地域で行われる事業に積極的に参加し映させます。

① 明るく楽しい施設作りに努めます。

② 医療ニーズへの対応ができるようチーム医療で取り組みます。